



人権が尊重される地域をめざして

川津地域人権・同和教育推進協議会 会長 山根 勝彦

「川津地域人権・同和教育推進協議会」では、地域の各種団体、地区内の幼稚園、各学校などと連携し同和教育をはじめあらゆる差別を解消するため人権・同和教育の推進に取り組んでいます。

「人権」ということをよく耳にします。が、「人権」について松江市人権施策推進基本方針（令和七年三月第三次改定）の中に次のような記述がありますので紹介します。



「人は誰でも、生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利、そして、人間が人間らしく生きる権利を生まれながらにしてもっています。これを「人権」と言います。」

人権に関する市民意識調査（令和五年松江市が実施）の結果から意識調査において、「日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。」とたずねたところ、「ある」と回答した人の割合は二十六・八パーセントで、四人に一人が差別や人権侵害を受けたと感じています。その割合は、前回調査（平成二十九年調査）、前々回調査（平成二十四年調査）と比べてみると、減っています。

さらなる人権・同和教育の推進が求められていると感じました。

また、「これまで、人権問題の講演会や研修会などへ参加したことがありますか。」とたずねたところ「参加したことはない」と回答した人の割合は六十四・四パーセントとなっております。

人権意識を高めるためにも多くの方に参加してもらえらる研修会などのあり方が問われていると感じました。

川津地域人権・同和教育推進協議会での取り組み

差別のない地域を実現するためには、地域住民一人ひとりが人権についての認識を深め、人権を大切にすることを持ってもらおう取り組みが必要であると考えています。

本協議会では、これまで人権に関する研修会を開催するなど人権・同和教育の推進に取り組んでいます。今後、市民意識調査を踏まえるなどした人権・同和教育の推進に取り組みたいと考えています。

また、地域の各種団体、地区の各学校等においては、それぞれの実施主体において実情に合った特色のある人権・同和教育に取り組まれています。引き続きそれぞれの実施主体での取り組みをお願いします。

なお、各学校等で行われている人権教育の取り組み及び本協議会の取り組みを次ページ以降に紹介していきますので、ご覧ください。

本協議会では、今後とも「あらゆる差別の解消」に向け地域の皆様と連携して取り組んでまいります。どうぞよろしく願います。



松江市立川津幼稚園

身近なひと・もの・ことに主体的にかかわり 心も体もしなやかな幼児の育成 ～「それいいね」の心を育む実践を通して～

今年度の取り組みのキーワードとしたことは、「自分っていいね」「友達っていいね」「川津っていいね」です。その取り組みの一部を紹介します。

自分っていいね

こども一人一人が「自分のことを好きになる」という姿を目指し、保育内容や教師の援助を工夫しました。こどもが自分なりのめあてをもって取り組んだり、心も体も開放させて思いっきり遊んだりする姿を「それいいね!」と認め、支えることを大切にしています。



めあてに向かってレッツチャレンジ!



どろんこおぼけだぞ〜!



青空の下でダンス〜エキゾチック・ジャパニーズ〜

友達っていいね

「友達の良さに気づき認め合う」という姿を目指し、同じ学年の友達や異年齢の友達と一緒に活動する楽しさを感じられるようにしています。



一緒にあそぼ!!
ジャンケンポン!



チョウの幼虫、
何を食べるか調べてみよう



貨物列車、
シュッシュュー♪



おもものツルの上で
ライブしたよ

川津っていいね

地域の方との活動を通して、こども達は地域の人との親しみを深め「川津っていいね」という気持ちを育んでいます。



嵩山のでっぺんについたぞー



やきいも、甘くておいしいね



コスモスロードから、ヤッホー!!!

1月28日には、川津人権交流研修会を行い、保育公開・取り組み発表を地域の方に見ていただきました。これからも地域の皆様とのつながりを大切にしながら「それいいね」がいっぱいの幼稚園を目指していきたいと思っております。



人権教育の 取り組み

松江市立川津小学校

学校教育目標

ふるさとや仲間とのあたたかいつながりの中で、自ら考え、最後までやりぬく川津っ子の育成

人権教育目標

人間の尊厳を自覚し、いじめや差別をなくす強い意志と連帯して問題を解決していこうとする実践力のあるこどもを育てる。

令和7年度の具体的な取組より

取組紹介

1

人権集会

●ねらい

人権について理解を深めるとともに、自分らしさや相手を大切にしようとする人権意識を高める。

●日 時

9月30日(火) 10:35~11:20

●スローガン

「一人ひとりの気持ちを大切に 助け合って いじめゼロにしよう」

●活動の概要

児童会の運営委員会が中心となり、全校で話し合って決めたスローガン「一人ひとりの気持ちを大切に 助け合って いじめゼロにしよう」を確認した。また、各学年の代表が人権標語とその標語に込めた思いや学年の取組について発表した。思いやりや相手を大切にする心について、全校で共通理解することができた。



昇降口に掲げられたスローガン



人権標語

取組紹介

2

PTA人権教育講演会

●ねらい

家庭、職場、学校、地域など暮らしの中にある固定的な性別役割意識や慣習等を見直す活動を通して、男女共同参画に関わる知識や理解を深め、男女共同参画を推進する実践力を養う。

●日 時

1月22日(木) 14:50~15:50

●内 容

「男女共同参画社会実現のために」

●講 師

松江市男女共同参画センター職員

●活動の概要

男女共同参画かるたを使って、無意識に思い込みがちな性別による役割分担など、日常生活の「当たり前」を見直すことができた。



PTA研修会の様子



男女共同参画かるた



松江市立第二中学校

今年度は10月に人権教育講演会、12月の人権週間を中心に取組を行いました。

人権教育講演会(10月)

宮崎 保さんを招き、演題「ちょっと心をかしてくれませんか」で人権教育講演会を開催しました。当日は多数の保護者の方にもご来場いただき、生徒とともに宮崎さんの体験に基づいたお話と歌を通して、人権を大切にすることの意味について学ぶことができました。

生徒と保護者の感想(講演会)

【生徒】

◆講演会でたくさんのお話や歌を聞きました。どのような思いや考えで宮崎さんが生きているか、今まで生きてきた中でどんな苦しいことがあったかを知りました。私たちが当たり前だと思っていることができない人だっている。だから当たり前だと思っていること、学校、友達、家族を大切にしたいと思いました。誰もが良い毎日を過ごせるように、自分にできることをちゃんと考えていきたいと思いました。

【保護者】

◆人権は人が幸せになるための権利だと改めて感じました。人権について考えると同時に今この瞬間に生きている意味を考えさせられました。最後に歌われた「心の叫び」の「一番言いたくないことは、一番わかってほしいこと」という歌詞が印象的でした。自分の心を大切に、人の心を大切にしていきたいです。



「心ぽかぽかプロジェクト」(12月)

今年は「アンコンシャス・バイアス（無関心の偏見）」をテーマに、生徒会執行部の生徒が脚本・演出を担当した人権劇の上映と生徒会執行部が発案・作成した「心ぽかぽかカードゲーム」を各学級で行いました。人権劇は「性別」と「見た目」をテーマに普段生活している中で起こりそうな場面を想定し、劇中の会話を振り返り、どこに問題点があるかをグループで考えました。心ぽかぽかカードゲームでは、カードのお題に従い、友達の良いところや前向きな気持ちになるための言葉がけなどを伝え合いました。また、生徒会執行部が人権に関わる日めくりカレンダーを作成し、人権週間の間、教室に掲示しました。また昼の放送で生徒会執行部が人権に関わる楽曲を選曲し、選んだ理由と共に給食時の放送で流しました。



人権教育公開授業(1月)

今年度は高の杜学園人権教育公開授業を松江二中で行いました。「識字」をテーマに授業を行い、生徒とともに教職員も差別や偏見のない平等な社会の実現に向けて、人権意識を高めることができました。また、授業公開日に併せ、全学級で人権教育の授業を公開し、保護者の方や学校運営協議会委員、隣保館の方に見ていただきました。



人権教育の
取り組み

島根県立松江養護学校

校 訓

「明るく」「強く」「なかよく」

学校教育目標

地域とともに、夢に向かって心豊かにたくましく生きる力を育む

令和7年度の具体的な取組

「自分らしさを精一杯発揮しようとする力」や「お互いに思いやる力」を育み、小学部・中学部・高等部がそれぞれの「めざす姿」に向かって、年間を通して人権教育の推進に取り組んでいます。今回は、各学部の人権週間の取組を紹介します。

小学部

“みんなちがってみんないい”～ぼくのわたしの好きなもの、好きな色、好きなこと～をテーマに、木の実に見立てた画用紙に自分の好きな世界を表現するという創作活動に取り組みました。児童ひとりひとりが掲示に参加し、大きなひとつの木を完成させました。掲示を通して、嬉しそうに見てほしい気持ちを伝える姿や積極的に人と関わろうとする姿が見られました。



中学部

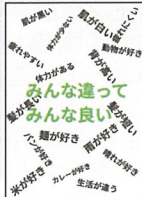
中学部全員が楽しめるイベントを生活委員会の生徒が中心に考え、「エンジョイタイム」を企画しました。「音楽鑑賞」「ダンス」「フライングディスク」「しっぽ取り」「工作」の中からやりたい活動を選び、学年を超えて楽しみました。

人権週間に合わせて「あいさつ運動」を実施しました。友達同士で元気よく「さようなら！」とあいさつし合うことで、いつも以上に笑顔で下校する姿が見られました。



高等部

人権ポスターを作成して、校内に掲示をしました。「人権とは何か」についてみんなと一緒に考え、それぞれがテーマを決めて大切にしたいことが伝わるよう、インターネットのイラストやキャッチコピーを参考にしながら作成しました。



生徒会が企画をし、「みんなが楽しめるイベント」を行いました。有志グループによるステージ発表では、事前に練習した歌やダンスを一生懸命に披露したり、手拍子で盛り上げたりと、学年を超えてそれぞれに楽しむ姿が見られました。





人権教育の
取り組み

島根県立松江東高等学校

松江東高校では、人権に関する知的理解と人権感覚の育成を人権教育の目標として、下表のように学年に応じたホームルーム活動を各学期1時間ずつ展開しています。

	人権に関する知的理解	人権感覚	
	知識的側面	価値的・態度的側面	技能的側面
1 学 年	○アサーティブな話し方 ○さまざまな人権課題（障がい者）	○多様性に対するひらかれた心	○他者の発言を受容する想像力 ○適切な自己表現を可能とする コミュニケーション技能
2 学 年	○SNSでの発信で注意すべき点 ○同和問題の歴史と解消への取組	○自己の行動に責任を負う 意欲・態度	○適切な自己表現を可能とする コミュニケーション技能 ○差別を見極める技能
3 学 年	○適正な選考を実現するための取組 ○現代における同和問題	○自己の行動に責任を負う 意欲・態度 ○人権侵害を解決しようとする 意欲	○対等な人間関係をつくる技能

卒業前の3年生を対象に源氏螢の会代表の三浦成人さんをお招きして同和問題についての講演会を開きました。自らの体験をもとに時々声を詰まらせながら熱く「生きるうえで大切なこと」を訴えかける三浦さんに、生徒たちは大きく心を揺さぶられた様子でした。生徒からは「同和問題が身近なものだと意識することができた。」「『差別はあるのではなく、差別をする人がいるだけだ』という言葉が印象に残った。」「自分は絶対に差別をしない人間になろうと強く意識した。」という感想がありました。



また、ホームルームの時間以外でもさまざまな人権意識啓発の取組をしていますので、いくつか紹介します。

いじめ防止標語コンテスト



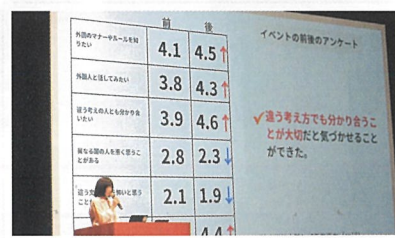
全校生徒を対象に標語を募集し、生徒会執行部で入賞作品を選んでポスターを校内に掲示し、いじめ撲滅の意識向上を図っています。

ピンクシャツデー



カナダでピンクのシャツを着ていじめられた少年を助けるため、周囲の生徒が同じ色のシャツを着たことが始まりでした。いじめ反対運動として世界180か国に広がっています。本校でも2月最終週に生徒会が中心となって実施しました。事前に各ホームルームで運動の始まりと意義について理解する機会を設け、当日は全校生徒及び教職員がピンクのものを身に付けていじめ防止を呼びかけました。

EAST地域探究



3年生の選択科目で地域に目を向けた探究的な学びをします。今年度はその中で「子どもたちの中にある外国人に対する偏見」について探究した生徒がいました。川津小学校の児童にも協力してもらい、ゲームを用いたイベントを行って外国人に対する意識の変化について学園祭で発表しました。





大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科 (松江キャンパス)

本学は、全ての学生の存在の価値を尊重し、その人権を保障し、成長の可能性に絶えず挑戦する人間の育成を目指しています。地域の多様な方々と繋がり、実践的な学びが得られる保育者養成を大切にしており、2年間の教育課程の中で、人々がより幸福に、快適に、人間らしく暮らすことのできる方法を見出すための実践を学んでいます。ここでは今年度実施した授業や講話を紹介します。

医療的ケア研修(対象:全学年)



島根県医療的ケア児支援センターから矢田昭子先生を招き、医療的ケア児の受け入れ態勢、保護者やきょうだい児とのかかわりについて「医療的ケア児とその家族への支援」というテーマでご講義いただきました。当日は、医療器具や医療行為を体験するための人形、紙芝居に実際に触れて学ぶことで、医療的ケア児について身近に感じることができました。



授業:障がい児保育(対象:2年生)



「障がい児保育」では障がいのある子どもの育ちを支える保育環境や就学後の姿について実践的に学んでいます。今年度は松江養護学校を訪問し、生徒の皆さんや先生方とさおり織やクッキーづくり等を体験しました。障がい児支援に興味のある学生にとって、子どもの育ちを支える社会資源を知る機会になりました。



人権や権利に関する授業



1年生	憲法が保障する基本的人権について学ぶ授業:日本国憲法 子どもの権利について学ぶ授業:子ども家庭福祉、教育原理、社会福祉論 権利擁護について学ぶ授業:子ども家庭福祉、社会的養護Ⅰ
2年生	障がいのある人の権利について学ぶ授業:障がいのある人の発達保障、障がい児保育 権利擁護について学ぶ授業:社会的養護Ⅱ



川津地域人権・同和教育推進協議会 (川津地域人同協)

川津地域人同協では、同和問題をはじめ、様々な人権課題の理解を深めるため、川津地区や他地区の皆さんと一緒に研修会などを通して学びを深めています。今回は、今年度開催した研修会を紹介します。

令和7年
6/25

地区研修会



▲基本方針「3つの基本理念」を大切に

内容：「松江市人権施策推進基本方針第三次改定について」

講師：松江市人権男女共同参画課 教育指導講師 高橋 恒夫さん

この5～6年の間にあった社会の出来事や人々の関心の変容（例えば…新型コロナウイルスの発生、ヤングケアラーへの関心、性の多様性）を振り返りながら、これらの出来事が基本方針にどう生かされたのかを分かりやすくお話しいただきました。

3つの 基本理念

- ◎ 「ひとごと」から「わがこと」へ
- ◎ 共生の心の醸成と「人権文化」の創造
- ◎ 共創・協働と連携による「人権のまちづくり」

令和7年
10/29

朝酌・川津地域 人権同和教育交流視察研修会

視察先：福山市人権平和資料館

人権と平和の大切さを併せて発信する「福山市人権平和資料館」では、戦後80年特別企画「収藏品」展、常設展示「人権部門」「平和部門」の3つのテーマについて、資料館職員の方より貴重なお話を伺うことができました。

人権課題への取り組みの大切さ、また戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて感じることができ、学び多き研修となりました。



▲「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」について



参加者の感想

- ◎ 人権平和資料館は勉強になった。戦争と差別の関連など地元弁もまじえた説明は良かった。根深い差別感もよくわかった。福山市の対策は効果的だった。
- ◎ 人権平和資料館は戦争と同和問題の両方の学習がコンパクトな建物の中ででき、2h弱の時間が効率的に使えました。

令和8年
2/28

菅田会館・ 川津地区合同研修会

内容：●映画上映会「ぼけますから、よろしくお願ひします。」

●講話「認知症～支援から共生へ～」

講師：松江市介護保険課 大藤 恵理さん

ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」鑑賞では、認知症当事者とその家族がそれぞれの葛藤と向き合う、ありのままの姿を知ることができました。

松江市介護保険課 大藤さんの講話では、認知症地域支援推進員として実際に地域と共に活動しておられる様子や、認知症に対する考え方の変化についてお話しいただきました。

「支える側」と「支えられる側」という枠組みを超え、「お互いさま」の心で支え合い、地域のなかで自分らしく暮らし続けることがこれからの社会で大切なことだと改めて考えさせられました。

参加者の感想

- ◎ 老いと向き合うことについて見つけなおすことができました。特に認知症の家族の話に寄り添う、傾聴が大切だと思いました。
- ◎ 長寿社会に生きる自分にとって、よい機会をいただきました。身近に認知症の人はいませんが、自分が日頃の生活のなかでできることを大藤さんに示していただき、心がけたいと思いました。



▲認知症は支援から共生へ

*その他、市・県主催の研修会や地域内教育機関の公開授業等にも参加しました